

## JSID きさらぎ塾応募用紙

日本研究皮膚科学会では、全国より熱意ある有望な研究に携わる若手皮膚科医を集い、将来の日本・国際研究皮膚科学を担う人材を養成することを主旨として、2018年 2月1日（木）から3日（土）までの3日間ホテル日航アリビラ(沖縄)を会場に、JSIDきさらぎ塾を開催します。若手の皆さんの参加を、お待ちしております。

応募用紙の記載に当たっては、シラバス作成時に使用しますので、下記に挙げる項目について、次ページの見本を参考に、A4一枚に入るように9フォントを使用してWordファイル（フォント:本文は明朝体、タイトルはゴシック）で作成してください。書式、写真が規定から逸脱した場合には、選考対象から外れることがあります。

また、きさらぎ塾では応募書類の中から最も優れたものに「JSID きさらぎ応募賞」を選出します。応募賞に選出された塾生の応募書類は次年度募集の際の見本として用いさせていただきます。

前は、群馬大学の藤原千紗子先生が受賞されました。藤原先生の応募書類を見本として添付します。

【応募者情報】 応募用紙見本を参照し、ページ上部に写真と応募者情報を配置し、枠線で囲う。

顔写真（白黒、画質の鮮明な写真 幅 4cm×高さ 5cm、350dpi 程度）

注意：写真は応募用紙貼り付けの他に、別途提出。ファイル形式は JPEG、ファイル名は氏名とする。

英文氏名

氏名

ミドルネーム（あなたを端的に表すと思うものを考えてください。笑いがとれるもの、塾生同士が親しみを感じられるような遊び心があるものを選びましょう。例えば、なるなる、ジェシカ、じろりあん、とっちー、など）

趣味

所属および役職

職場住所

職場 TEL・FAX

E-mail

略歴

【志望動機・皮膚科医として目指す夢】

将来の研究皮膚科学会を担う研究に携わる若手皮膚科医の育成を目的とする「きさらぎ塾」の参加者選考に際しては、この項目を最も評価したいと思います。

【演題】

英語による研究プレゼンテーションとポスター展示をします。その際に発表する演題名を記載してください。抄録については、【背景】【結果】【考察】などに分けて記載してください。なお、応募用紙を用いてきさらぎ塾のシラバスを作成します。シラバスは全国の大学皮膚科学教室および JSID の協賛企業に配布する予定です。記載される内容について、ご注意ください。

また、これまでに発表した論文、研究皮膚科学会での学会発表などから主要なものを選定し、自己 PR のために別紙として添付して頂いても構いません。研究皮膚科学会での学会発表に関しては、プレナリー、口頭発表、ポスターの別も記載し、応募者本人には下線を付してください（なお、この項目は選考の際にはあくまでも参考に留め、研究業績がないことを理由に参加を制限することはありません）。

応募書類〆切： 2017年8月31日（木）

応募書式送付先：日本研究皮膚科学会(JSID)事務局 JSID きさらぎ塾 応募選考担当者 office2@jsid.org

応募用紙、顔写真、および指導教授の推薦状〔様式1〕をそれぞれ別ファイルとしてメールに添付して送付してください。メール送付時のタイトルは、「JSID きさらぎ塾応募（氏名）」としてください。なお、本応募用紙は、日本研究皮膚科学会のホームページからダウンロードすることができます。

[http://www.jsid.org/educational\\_programs/application\\_kisaragi.html](http://www.jsid.org/educational_programs/application_kisaragi.html)

2月の沖縄で、大学皮膚科あるいは皮膚科研究を魅力あるものにしたいと思い描く若手研究者の皆さんにお会いできるのを楽しみにしています。

[様式 1]

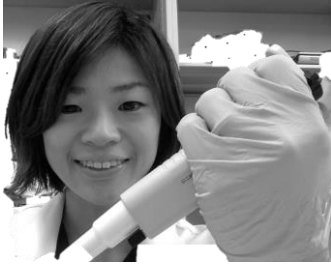
応募書類とは別ファイルとし、PDF ファイルをメール添付でお送り下さい。

日本研究皮膚科学会(JSID)事務局

JSID きさらぎ塾 応募選考担当者 宛

<b>指導教授 推薦状</b>	<p>この度の日本研究皮膚科学会（JSID）が主催する研究に携わる若手皮膚科医育成のための「きさらぎ塾」への参加応募に際して、応募者がそれにふさわしい人物であることを推薦します。</p> <p style="text-align: right;">平成 年 月 日</p> <p>応募者氏名： 所属：</p> <p>指導教授氏名（自署）： _____ 印</p>
---------------------	---

コメント：



Chisako , (Onchan) , Fujiwara

藤原 “おんちゃん” 千紗子

趣味: 飲食すること

群馬大学大学院医学系研究科皮膚科 大学院生

〒371-8511 群馬県前橋市昭和町 3-39-22 TEL:027-220-8284 FAX:027-220-8285

E-mail:m1620045@gunma-u.ac.jp

平成20年 自治医科大学医学部卒業、高知医療センター 初期研修医

平成22年-26年 高知県の僻地医療内科勤務

平成26年 群馬大学病院皮膚科 医員

平成28年 群馬大学大学院医学系研究科 入学

### 【志望動機・皮膚科医として目指す夢】

私が皮膚科医を目指したのは、自分が幼少時からアトピー性皮膚炎がひどく入退院を繰り返していたことが背景にありました。ありきたりな理由ですが、皮膚科にはたいへんお世話になっていて、自分もアトピーで苦しむ人達の気持ちを理解し、助けたいという気持ちから皮膚科を目指しました。卒業後数年は出身大学の関係で地元の高知県の僻地でプライマリ・ケアをし、専門的介入が必要な場合は大病院へ紹介、という診療をしており様々な分野の患者さんを診させていただきました。その中で、改めて皮膚科医の重要性、おもしろさ（もちろんアトピー以外も含め）を認識しました。僻地医療ではサブスペシャリティとして特に皮膚科（と整形外科もですが）の臨床ができればと強く感じ、ますます皮膚科への想いが強くなりました。機会あって皮膚科をやらせていただくことができ、しばらく臨床に従事していたことや、皮膚科の臨床ができるという喜びから最初は研究というものは全く頭にはありませんでした。しかしカンファレンスや論文の内容の理解に苦しむことも多々あり、大学病院で身近で先生方の研究の話聞くにつれ、これらに携わり理解することができれば、もっと皮膚科が楽しいものになるのではないかと徐々に研究への興味がわいてきました。甘い考えかもしれませんが、今実験を始めて、もちろんいい結果ばかりではないですがそれもまたおもしろく感じている毎日です。今回きさらぎ塾に参加させていただき、他大学の先生方からも刺激を受けさらに精進してまいりたいと考え応募させていただきました。

### 【演題】強皮症の皮膚線維化・血管障害における分泌蛋白質 MFG-E8 による制御機構

【背景と目的】分泌蛋白質 MFG-E8 は RGD 配列を介してインテグリン  $\alpha V \beta 3/5$  と結合する。この結合を介して、アポトーシス細胞の貪食促進作用や血管新生能を示す。我々はこれまでに、ペリサイトや間葉系幹細胞由来の MFG-E8 が創傷治癒や腫瘍成長を促進させることを明らかにしてきた。本研究では、線維化における MFG-E8 の役割と全身性強皮症 (SSc) の病態への関与について明らかにすることを目的とした。

【結果と結論】潜在型 TGF- $\beta$  はインテグリン  $\alpha V$  に結合し活性化型 TGF- $\beta$  となり、TGF 受容体を介して I 型コラーゲン等の線維化因子を亢進させる。我々は、SSc 由来線維芽細胞において、潜在型 TGF- $\beta$  刺激による I 型コラーゲン、CTGF、 $\alpha$ SMA の発現亢進が rMFG-E8 処理によって抑制されることを見出した。また、RGD を RGE に変異させた MFG-E8 の処理では、潜在型 TGF- $\beta$  刺激による I 型コラーゲン等の発現亢進は抑制されなかった。これらの結果より、MFG-E8 が潜在型 TGF- $\beta$  刺激による線維化を抑制することが示唆された。次に、SSc モデルマウスであるブレオマイシン誘導線維化マウスと tight-skin (TSK/+) マウスを用いて、in vivo の線維化に対する MFG-E8 の役割について検討を行った。MFG-E8 KO マウスではブレオマイシン投与による皮膚と肺の線維化が亢進していた。また、tight-skin マウスと MFG-E8 KO マウスの掛け合わせによって作成した tight-skin/MFG-E8 KO マウスでは、tight-skin/MFG-E8 WT マウスと比較して皮膚と肺の線維化が亢進していた。これらの結果より、in vivo においても MFG-E8 が線維化に対して抑制的に働くことが示唆された。強皮症患者と健常人の皮膚における MFG-E8 の発現を比較したところ、強皮症皮膚では血管周囲の MFG-E8 の発現が低下していたことから、強皮症の皮膚硬化及び血管障害の病態においても MFG-E8 が関与する可能性が示唆された。